



㊦マヌルネコの雄
「ブルーシャ」



動物園からの
手紙
[339通目]

特異な生き物、マヌルネコ

この夏、新たにマヌルネコとライオンが来園しました。マヌルネコは、飼いや猫と同じくらい小型ですが、寒い環境に適応したネコで、冬毛はさらにモフモフになるようです。体型や動きを観察していると、飼いや猫を含め小型のネコとは微妙な違いが多くあります。そしてそれが、全てヒトがかわいらしいと感じる琴線に触れています。

まずは耳と目の位置。耳は極端に頭の両脇にあり、耳のラインと頭のモフモフとが水平につながって見えます。さらに目がおでこ寄りの位置にあり、目から上の面積が少ない。棚の上から身を潜め、目より上だけを出してこちらを見下ろしていることがありますが、水平なラインが、生き物としての気配を消しているように感じます。水平な岩棚にいたら見つけることは難しそうです。背丈のある草の少ない、岩

肌の露出した生息環境で、ナキウサギなどの獲物を狙う姿が目につきます。

また、小型のネコの仲間は瞳孔（黒目）が収縮すると、瞳孔が縦状の、いわゆる猫目になりますが、マヌルネコは瞳孔が丸いのです。これも、草やぶに身を潜めて縦の隙間からのぞいて獲物を襲う一般的な小型ネコとは、異なる環境での生活をイメージさせます。

さらに短い手足と鼻筋の短い平面的な顔が、ヒトがかわいらしいと感じる法則にはまっています。全てが相まって、地面に伏せている姿はやはり生き物を感じさせず、枯れ草の茂みみたいに見えます。僕も初めて本物を見たのですが、これは何とも特異な生き物ですね。マヌルネコに関して問合わせが多く、園内で「ネコはどこですか？」と聞かれ「こども牧場に天売島から来た馴化ネコがいますよ」と答えたら「違う！この間来たネコは？」と言われました。家ネコじゃないけど...と思いながら「マヌルネコはあつちです」と答えます。おっと、ライオンの話はまた来月。

旭山ピックアップ

動物園でネイチャーゲーム!

自然が大切なのは誰でも知っているけれど、自然って一体なんだろう? 飼育員と共に、身近な自然を体で感じましょう。

㊦10/14(日) 13:30~15:30

㊦定小学生以上・15人 ㊦申9/23(日)から



開園時間変更のお知らせ

10/15(月)まで=9:30~17:15

10/16(火)~11/3(土)=9:30~16:30
(入園は16:00まで)

※夏期開園は11/3まで。

最新ニュースは旭山動物園HPで



【詳細】旭山動物園(東旭川町倉沼
㊦36・1104)

旭山動物園をもっと楽しむ

絵本の読み聞かせ

㊦毎月第2土曜日 11:00から
㊦所動物図書館

ワンポイントガイド

㊦飼育員が動物たちのエピソードなどを紹介
㊦毎週日曜日、祝日 13:30から

とことん旭山

㊦内日●動物園裏側探検 旧キリン舎
・カバ舎・調理棟編=10/13(土) 11:00から ●開園前一人占め=10/20(土) 8:30から
㊦定各20人
㊦申電話で各日の3週間前9:00から

わくわくゲーム大会

㊦内2人または3人1組で動物に関するクイズを解きながら園内を巡る
㊦日11/3(土) 10:00~12:00
㊦定30組
㊦申電話で10/13(土)9:00から

児童動物画コンクール展覧会

㊦内幼児・児童が描いた絵画入賞作品を展示 ㊦日9/23(日)~11/3(土)
㊦所イベントホール1階

